

伝統の美、自然の美、
陶の美、素材の美。



Bernard Leach 生誕130年

バーナード・リーチ と 小鹿田焼展

2017.9.26.Tue - 10.18.Wed

小鹿田焼展は、芸術師である平尾昭三氏が未完のまま完成して美品の予感。

2017.9.26.Tue 記念フォーラム ●会場：パトリア会館(大ホール)

●時間：18:00-20:45(開場 17:00-) ●料金：入場無料

●記念講演「土器美術の未来」(司会者：平尾昭三氏)

●パネルディスカッション「土器の未来」(司会者：平尾昭三氏)

パネリスト：土器美術家・石井純子氏、濱田清司氏、鎌田正志【アーティスト】&山本和夫【学芸員】



Bernard Leach 生誕130年

バーナード・リーチ と 小倉田焼展

20世紀初頭を代表する工芸家バーナード・リーチが小倉田焼の愛を注いだのは昭和29年、30歳頃の関東移住以降のことです。リーチは小倉田焼とその文化、風景を尊敬し、このことは小倉田焼や日田市の名を全国にどこまで広めるきっかけとなりました。40年後に再び小倉田焼を訪れ、その伝統や風景が変わらないことに驚き「伝統の心が変わっていないことに驚き」といいます。この驚が驚かすほどの手ざからこそ、300年もの歴史が刻まれた小倉田焼の伝統の心と、それを発見したリーチの作品に魅了する機会を設けました。会場は小倉田焼と共に歴史を歩んできた歴史町です。それぞれの作品の「心」と共に、歴史ある空間の空気感もあわせてお楽しみください。



2017. 9.26. Tue - 10.18. Wed

小倉田焼展は、全場終了後も平成10年1月まで継続して展示予定です。

バーナード・リーチ展

会場／大野田資料館
券時間／9:00-17:00 券料金／310円
休館日／期間中休館



発見地を日本で選ごした、手造りまのイギリス人、バーナード・リーチ。華英辞は、セッティング美術学ならびにセッティングを学ぶ、日本への移住を遂げ、再来出し、セッティングを専攻、藤田正弘はセッティング・ブレイクや陶器部への関心を深めて、芸術に関する思想から影響や刺激をかり合う生活の支えとして関心があった。今後は、日本伝統的な陶器をリーチの陶器作品や伝統から、小倉田焼と関わりあふれ、赤土を中心に日田の町で暮らし、作品から伝統を見え、小倉田焼の心の文化を感じてほしい。

小倉田焼展

会場／豆田まづく歴史交流館(旧古賀製練所)
券時間／9:00-17:00 券料金／入場無料
休館日／期間中休館



小倉田焼は、1700年に、幕府御用窯であった日田の代官により幕内の生活様式を模倣するために興られた。長良運動を皮切りに土器窯が1879年にこの地を認め、「日田の焼物」に選んで評価する内省の一文を発表したことで、リーチが選定して制作を行ったことにより、日本全国や海外にまで広く知られるようになった。今後は、日本伝統的な陶器と土器窯が再生し、小倉田焼の歴史の進行には注意が必要。そのため、小倉田焼の歴史に繋がっている作品や資料を豆田まづくく歴史交流館で展示する。

お問い合わせ先：芸術資料館につき、小倉田焼の産（如山地区）への参観はご遠慮ください。ご協力の程、よろしくお問い合わせ申し上げます。

小倉田焼の産（如山地区）へ参観は歴史交流館の開放は、7月5日（金曜日）において大規模な土砂崩れが発生しました。現在は歴史交流館を開放し参観が可能となっておりますが、御来館の際はセンターが閉鎖し増設中、駐車状況により、安全確保のため全面通行止めになる場合がございます。そのため、小倉田焼の産にある小倉田焼歴史館に参観し、豆田まづくく歴史交流館に参観を希望しています。またまたにはご来館をお断りしますが、状況に応じてまたお参観の機会にご案内させていただきます。

如山地区のイベントなどのお問い合わせ先：芸術資料館 0973-23-5070 / 資料館窓口、開館日のお問い合わせ先：豆田まづくく歴史交流館 0973-23-2441